



# JR阿南駅周辺再整備 基本計画(案)

## 目次

はじめに

基本方針

ゾーニング計画

1. 交通基盤づくり「快適でわかりやすい交通基盤整備」

2. 環境整備「都市的環境に優れたまちづくり」

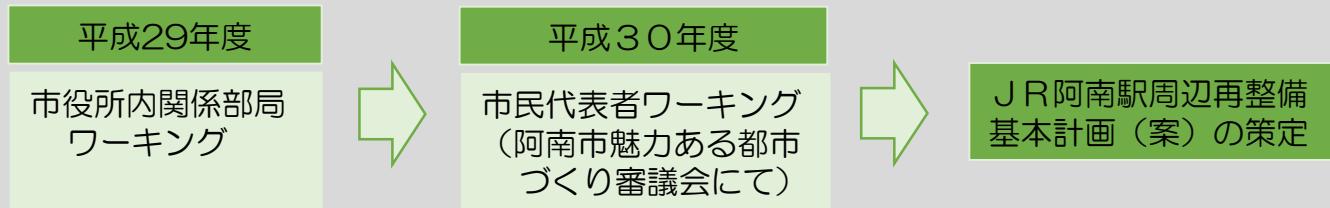
3. 人づくり「主体的なまちづくり組織づくり」

4. 実現化に向けて

# 【JR阿南駅周辺再整備基本計画（案）】 はじめに

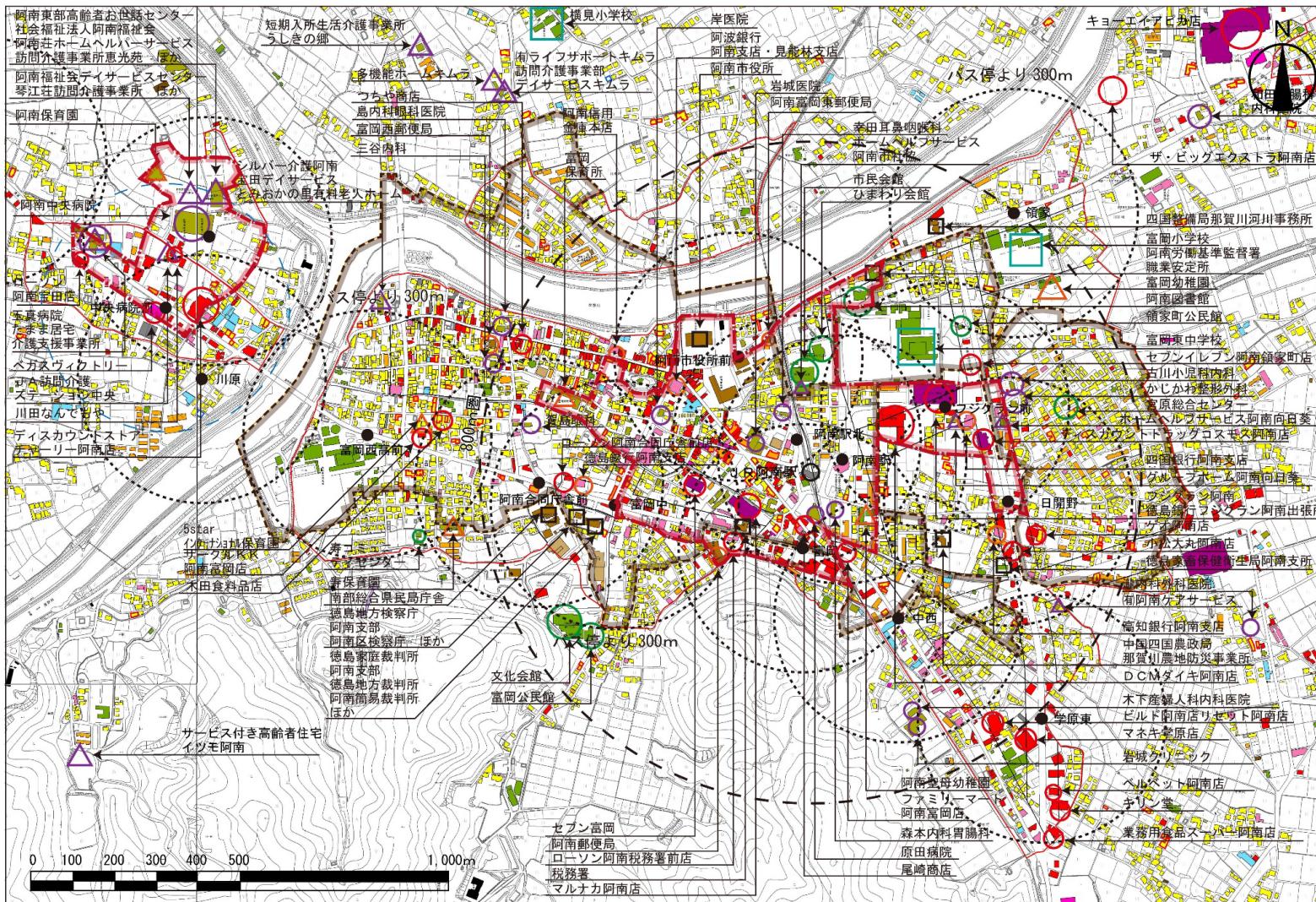
- JR阿南駅をはじめ駅周辺地区は、公共交通結節点のみならず将来にわたり重要な地区であるにも関わらず、商店街をはじめとして衰退傾向にあり阿南市の大きな課題となっている。
- そのため、JR阿南駅周辺のまちづくりについて、市民代表者ならびに市役所内関係部局とワーキングを重ね、基本計画（案）としてとりまとめた。
- 本基本計画（案）を今後の具体的な施策のたたき台として推進することとする。

## ■ 検討経緯



## ■ 将来のまちづくり

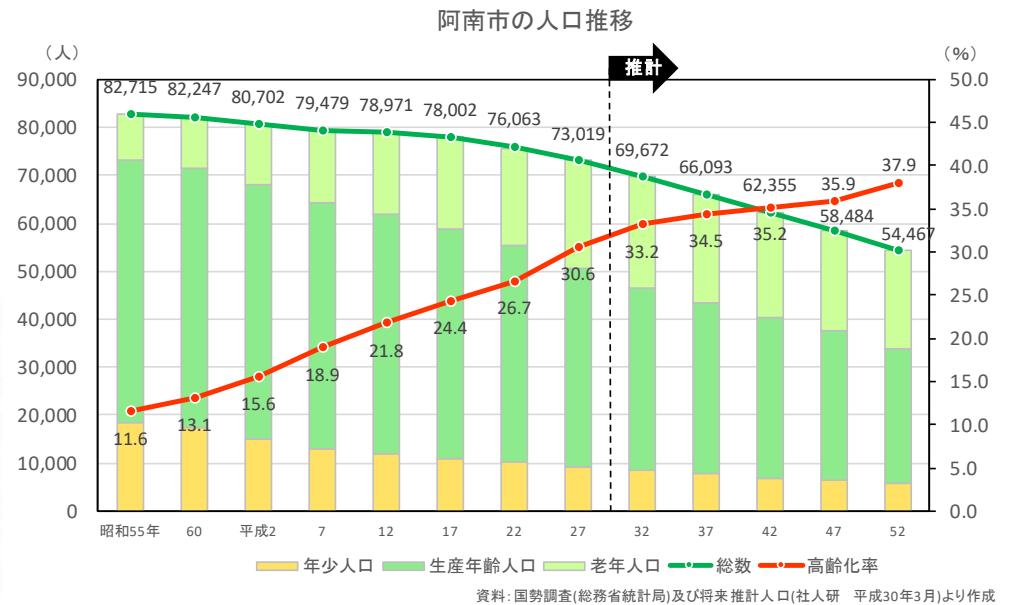
将来の少子高齢化・財政状況等を念頭に阿南市立地適正化計画が策定された。その中で、地域の中心地である駅周辺地区については、都市機能が集積する重要な地区（都市拠点）と位置付けられている。



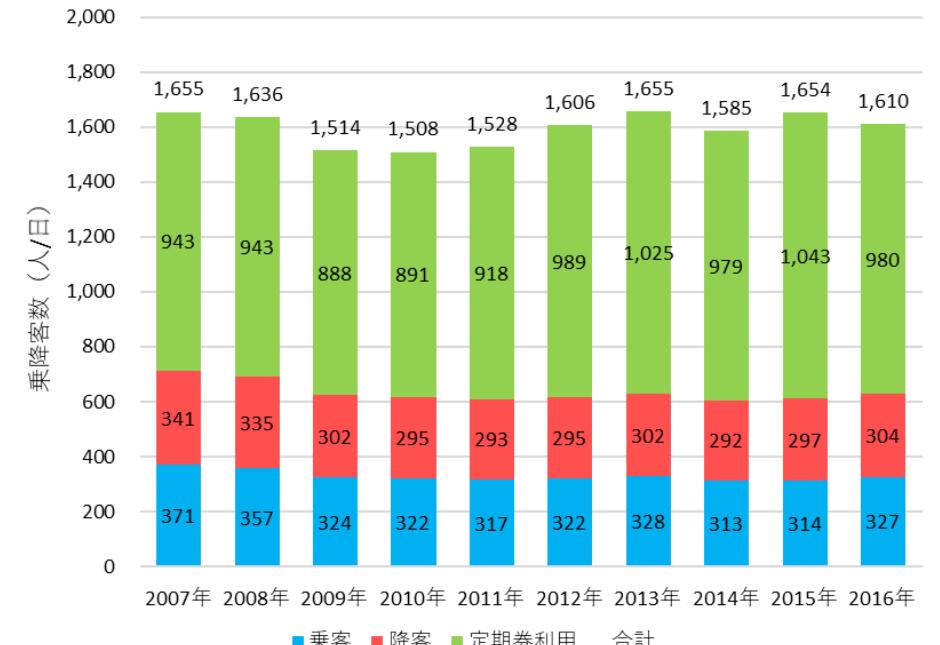
資料：阿南市立地適正化計画

## ■ 駅周辺地区の利用者状況

阿南市の人口が減少している中において、JR阿南駅の利用者数は変化していない。



## JR阿南駅の乗降客数の推移



まちづくりの課題を踏まえた基本方針を以下に示す。

## 阿南駅周辺地区の課題

### 課題1 駅周辺地区に人を呼び戻す

- ①人が滞在できる仕掛けづくり
- ②朝も夜もにぎわう街
- ③老若男女（特に若者）が集う街

### 課題2 移動・アクセス性に優れた道路・交通サービス

- ①便利で利用しやすい公共交通
- ②車でアクセスしやすい道路整備
- ③歩行者等にとっても優しい道路

### 課題3 駅周辺地区の地域資源の活用

- ①空き家・空き店舗の活用（商店街の再生）
- ②風情ある街並みや牛岐城趾公園、新市役所庁舎の活用
- ③緑や憩いを実感できる空間

### 課題4 利用者特性に配慮したまちづくり

- ①阿南駅を利用する方に便利な街
- ②ファミリー層が住みたい街
- ③ビジネス客に便利な街

## まちづくりの基本方針

### 基本方針1「快適でわかりやすい交通基盤整備」

- ★地区内道路、地区アクセス道路、駅周辺の**交通のサービス水準の向上**を以下のように図る。
  - ・地区内の道路に求められる機能を整理し、地区内道路のリノベーションを図る。
  - ・幹線道路から駅へのアクセスを容易にするため**接続道路**を整備する。
  - ・交通混乱を招いている**富岡町交差点の改良**並びに**牛岐城趾公園との一体的整備**をおこなう。
  - ・**歩行者等に優しい地区内の道路**づくりを図る。
  - ・JR阿南駅前の**駅前ロータリー並びに高速バス乗り場**を整備し、交通結節機能を強化する。
  - ・**JR線東西地区のアクセス強化**のための道路改良を行う。
- ★**駐車場を地区内外に点在**させ、車通りの少ない地区を目指す。
- ★わかりにくい駅周辺地区や公共交通（バス）に対して**交通・観光サイン整備**を行う。
- ★時間限定の**一方通行等を見直し**、わかりやすい道路ネットワークの形成を図る。

### 基本方針2「都市的環境に優れたまちづくり」

- ★**市民会館・ひまわり会館**の再編整備を検討し、跡地は**高密度の住宅地**として整備し、集客ならびにまちなか居住の推進を図る。
- ★地区内の賑やかさを保持するために**都市型スポーツ場**等のレクリエーション施設の導入を検討する。
- ★新市役所周辺からJR阿南駅までのエリアを新しいまちとして、**歩いて楽しめる街づくり**を目指す。
- ★CAFÉや公園・緑・歩行者優先道路の整備、景観づくりを**一体的に整備し、魅力的な街づくり**を行う。
- ★地区内へのホテルや商業の**誘致を進め、多様な利用者**（ビジネスマン、インバウンド、観光客等）への利便性の向上を図る。

### 基本方針3「主体的なまちづくり組織づくり」

- ★街の活性化を促す**運営組織**を支援し、空き家・空き店舗の利活用、商店街のリノベーション等を推進する。
- ★**地域の学生（若者）**による空き店舗活用による活性化方策を検討する。

交通基盤

環境整備

人づくり

### 憩い・文化・居住エリア

- 市民や来訪者が歩きたくなる文化的エリアを形成
- 緑や憩える空間を織り込み滞留・回遊できるエリアとする。
- 市民会館の機能を本エリアに誘導し、新市役所庁舎とともに文化的エリアとする。
- 都市型スポーツのスポットを設け賑わいのあるエリアとする。

### 都市型居住エリア

- 駅近くの利便性を活かして都市型ライフスタイルが実現できる居住エリアの形成
- ファミリー層や高齢者などのまちなか居住を促進し、多様な世代が交流できる良質な都市型中高層住宅を誘導

### にぎわい・商業・居住エリア

- 飲食・買物など付加価値の高いサービスを提供し、市民や来訪者が集いたくなる商業エリアを形成
- 商業機能と居住機能が近接し、高い生活利便性を有するまちなか居住空間の形成
- 商店街リノベーション、歩行者に優しい道路整備等を行い、滞在、回遊性を強化



地区外縁部での  
駐車場の整備・  
誘導

市役所駐車場の開放

市民会館の整備

牛岐城趾公園並びに富岡町  
交差点の一体的再整備

都市型居住エリア

歩行者優先道路の整備

東西連絡道路の確保

公園リニューアル

メインストリートと  
して再整備

高速バス発着所整備

地区の照明デザイン

若者プロデュース  
ショップ支援

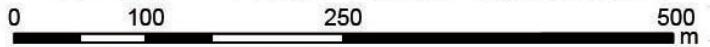
駅アクセス道路整備

駅近くへのホテル・  
飲食の誘致

駅前ロータリー&駐車場整備  
交通・観光サイン整備

凡例

- 幹線道路ネットワーク
- - - 歩行者ネットワーク

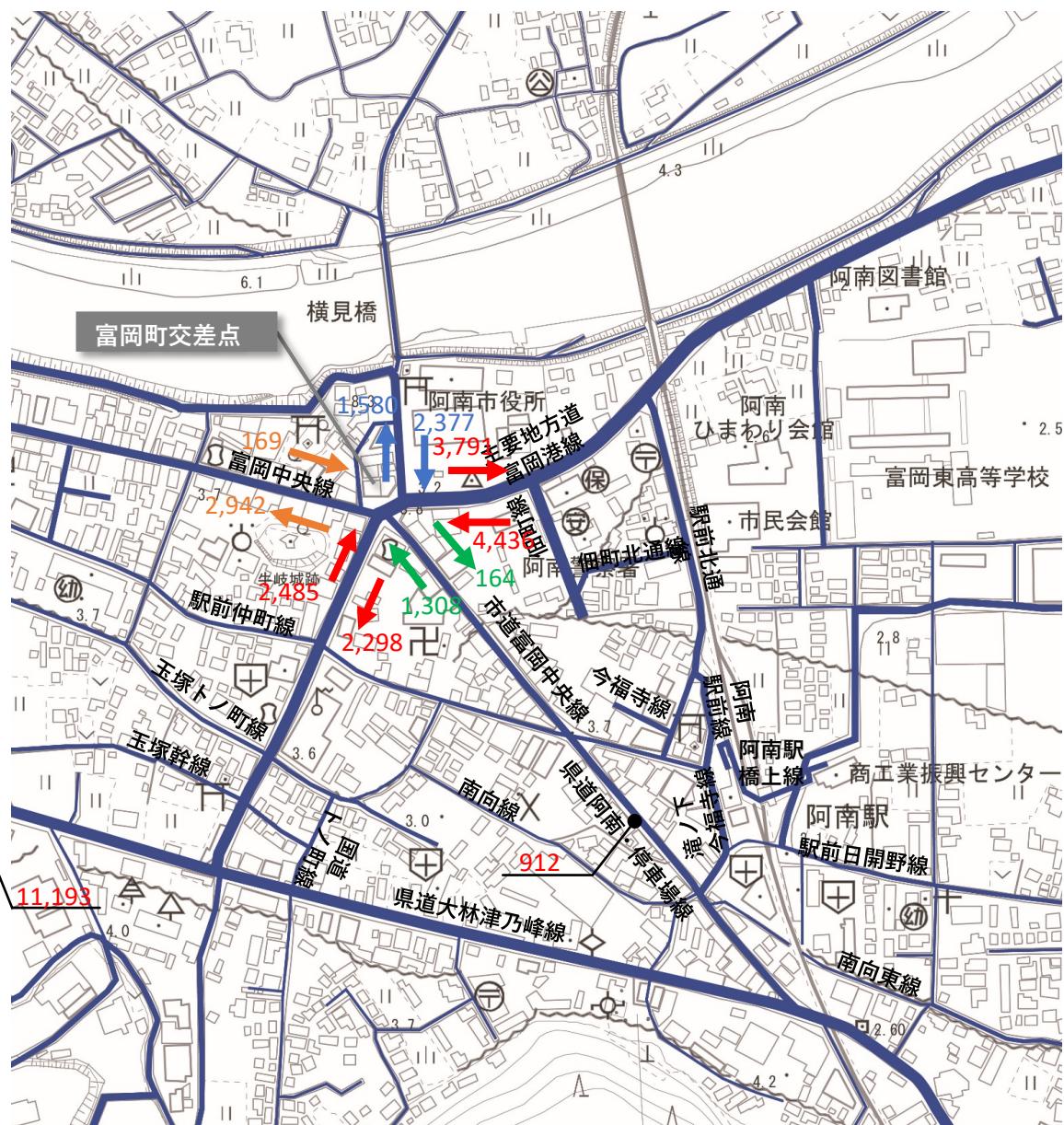


(1) 道路ネットワーク

1) 道路ネットワークの配置状況

①現在の道路交通ネットワーク及び交通量

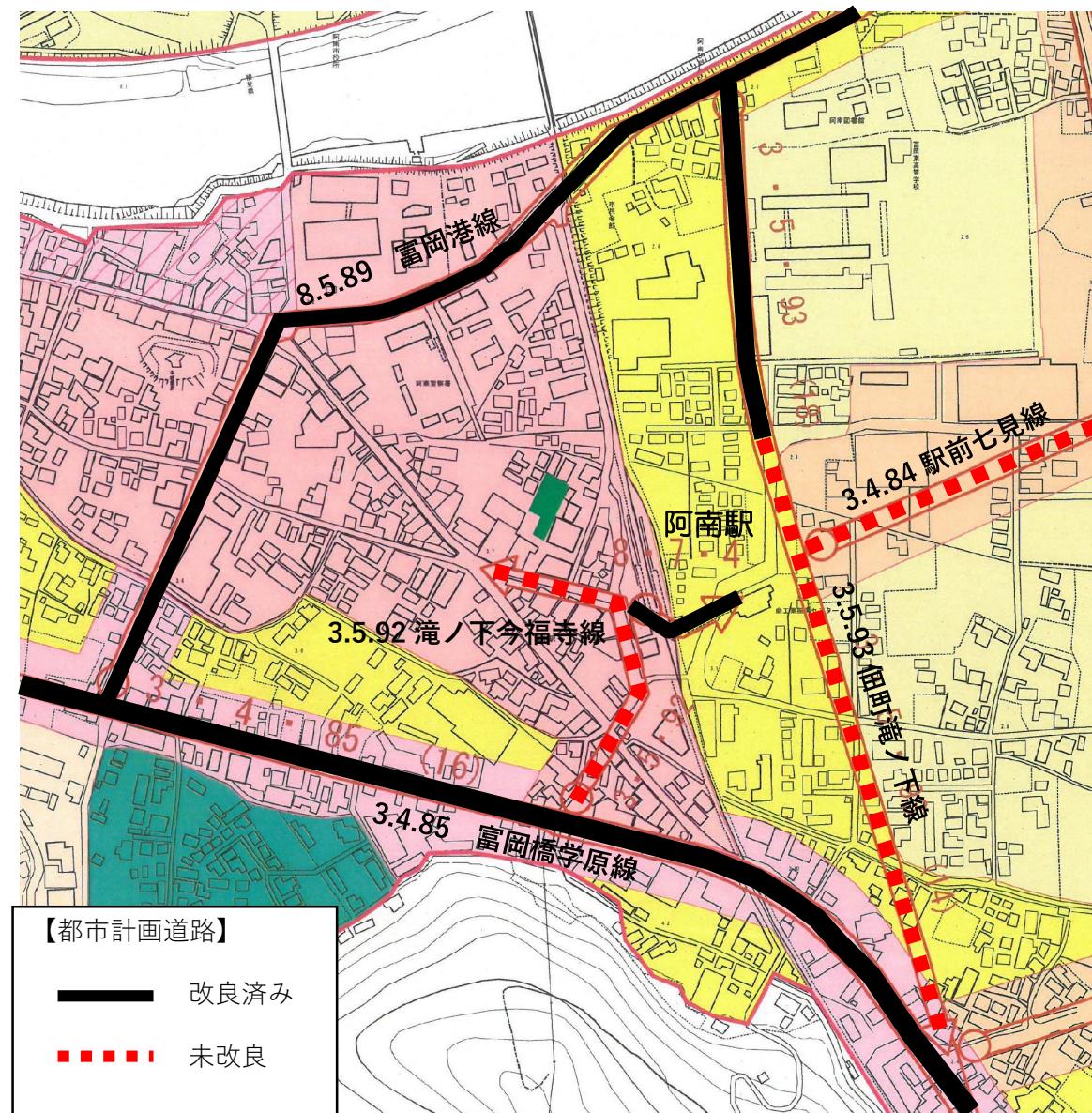
- ・ 県道大林津乃峰線、主要地方道富岡港線は交通量が多く、駅周辺地区における幹線道路となっている。
- ・ 富岡町交差点は五叉路となっており、複雑な交差点となっている。
- ・ 地区南側の県道大林津乃峰線から駅へのアクセス性が悪い。
- ・ 駅周辺地区内は訪問者等が回遊し、歩きやすい環境が望まれている。



※数値は12時間交通量（富岡町交差点交通量調査、H27道路交通センサスより）

②現在の都市計画決定路線

- ・ 対象地区内では、都市計画道路滝ノ下今福寺線が未改良となっている。
- ・ 駅東側の都市計画道路佃町滝ノ下線も一部未改良となっている。
- ・ 上記路線が未改良のため、駅前に大型バスが乗り入れできず、駅前アクセスが困難である。



【都市計画道路】

- 改良済み
- - - 未改良



②駅前広場導入施設の諸元

＜東西駅前広場整備の基本的な考え方＞

- 東西駅前広場の役割を設定したうえで、一体的な利用を想定した諸元の設定を行う。
- 西側駅前広場では、一般的な利用として、公共交通（路線バス、コミュニティバス）、タクシー、自家用車、自転車・徒歩利用者を想定した機能の確保を図る。
- 東側駅前広場は、高速バスターミナルを中心とした広域交通の拠点として、県南地域を含む広域からの利用を想定した施設整備を図る。

▼将来の西側駅前広場の必要施設構成

施設構成		現況	将来	備考
バス	路線バス	1	2	
	コミュニティバス	—	1	
	その他	—	—	
タクシー	乗降場	1	2	
	待機場	3	3	
一般車	乗降場	—	2	
	一次駐車場	—	—	
身障者用（乗降場）		—	(1)	
歩行空間		未整備	ゆとりある安全な空間	
賑わい広場		交流スペース（約200㎡）	十分な環境空間	
駅前広場計		—	約3,900㎡	

▼将来の東側駅前広場の必要施設構成

施設構成		現況	将来	備考
バス	路線バス	—	—	
	コミュニティバス	—	—	
	その他	1	2	高速バスバース
タクシー	乗降場	—	—	
	待機場	—	—	
一般車	乗降場	—	—	
	一次駐車場（P&R駐車場）	—	—	
身障者用（乗降場）		—	1	
歩行空間		未整備	ゆとりある安全な空間	
賑わい広場		未整備	十分な環境空間	
駅前広場計		—	約4,000㎡	

(1) 東西地区アクセス通路、地区内道路改良の考え方

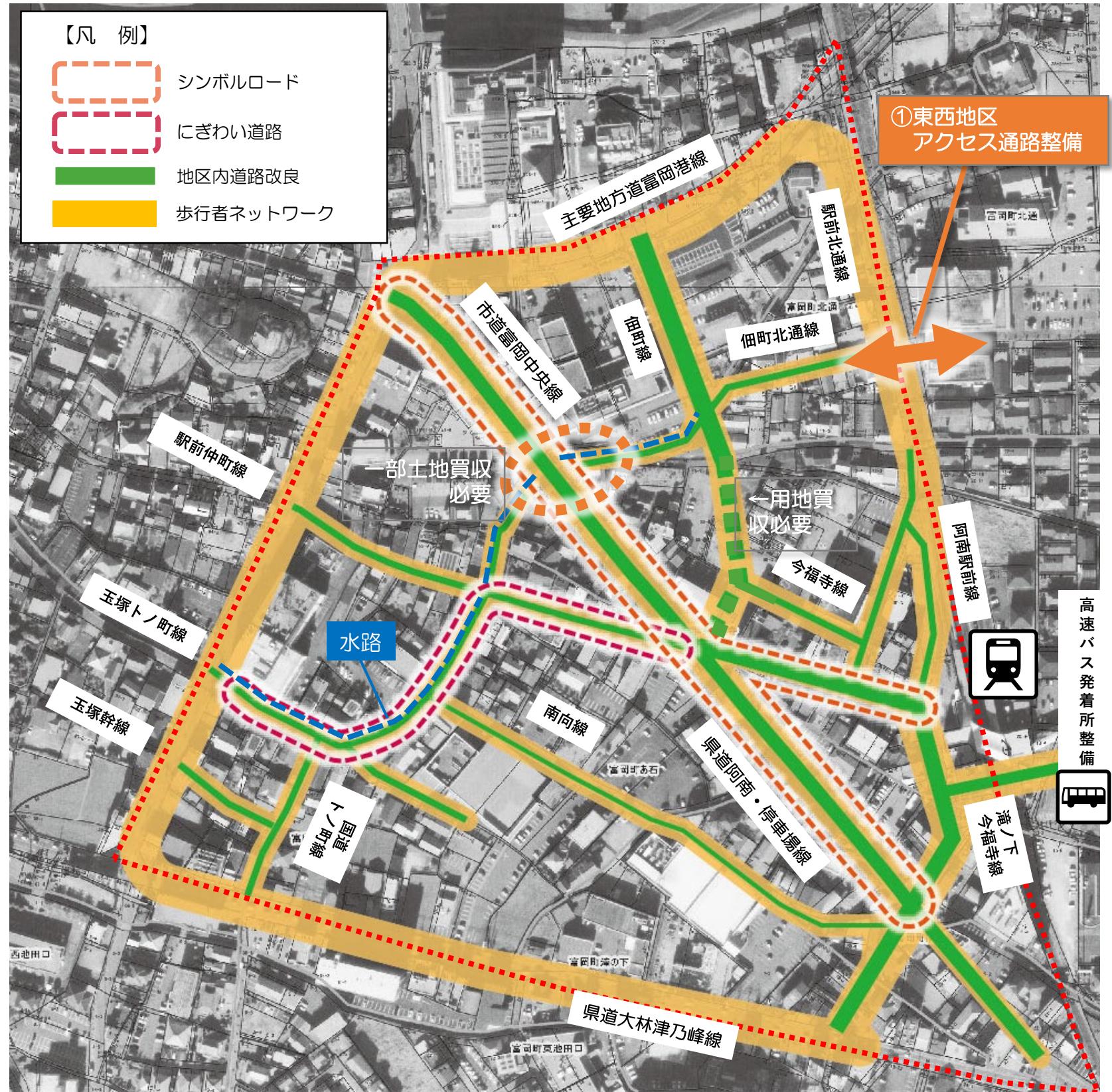
①東西地区アクセス通路整備

- 東西地区間のアクセス通路を整備する。  
(整備時期は市民会館の建替え時)



②地区内道路改良

- 地区内の道路（駅周辺環状道路を除く公道）については、歩行者に優しい道路としてブロック舗装やカラー舗装、サイン等を施し、景観に配慮した道路としてリノベーションを図る。
- 県道阿南・停車場線についてはシンボル道路としてグレードの高い道路として整備を行う。
- 駅周辺地区内・外を歩行者等が東西南北に行き来しやすいようにするために、水路空間を利用して自転車歩行者道路を整備する（一部用地買収必要）。



(2) 道路整備イメージ

地区内の道路（駅周辺環状道路を除く公道）については、歩行者に優しい道路としてブロック舗装やカラー舗装、サイン等を施し、景観に配慮した道路としてリノベーションを図る。県道阿南・停車場線についてはシンボル道路としてグレードの高い道路として整備を行う。

【シンボルロード 整備イメージ】



【にぎわい道路イメージ】



【道路等整備イメージ】



▲ブロック舗装イメージ

【魅力的な街づくりイメージ】



▲（他市事例）愛媛県松山市 たまり空間の創出

【道路等整備イメージ】



▲カラー舗装イメージ



【魅力的な街づくりイメージ】



▲（他市事例）北海道深川市 ブランターの設置



▲（他市事例）青森県八戸市 若手プロデュースショップ（屋台イメージ）



◀（他市事例）大阪府和泉市 案内サインイメージ

【地区内道路イメージ】



▲（他市事例）愛知県江南市地区内道路改良イメージ



▲自転車歩行者道の整備イメージ



▲（他市事例）青森県 青森市内案内サインイメージ

【地区内ライティングデザイン イメージ】

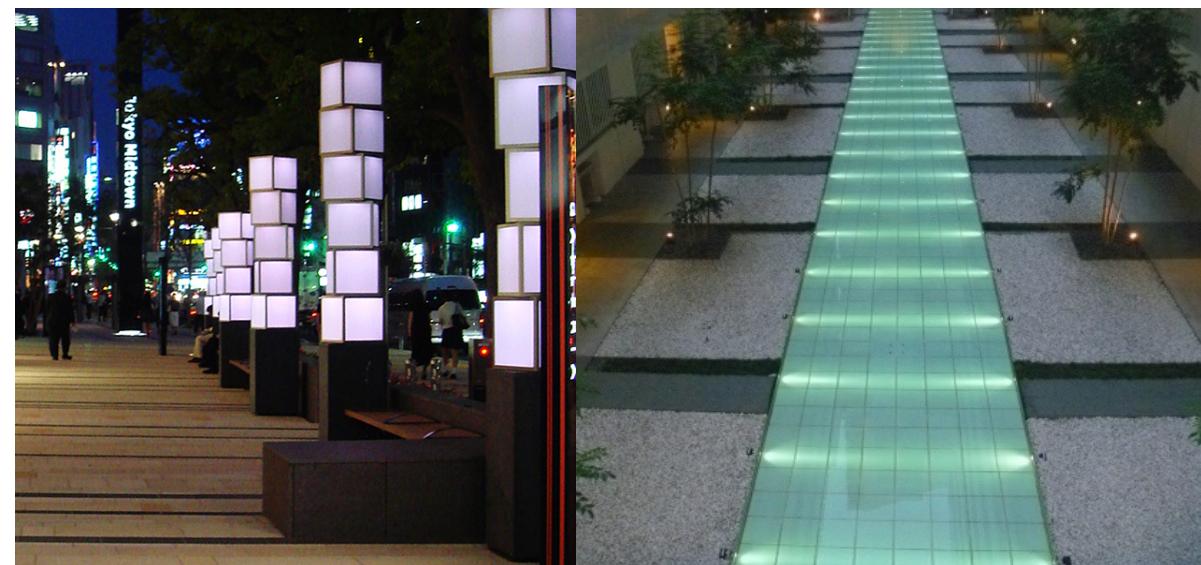
検討対象地区の外周をぐるりと囲むように、阿南のまちなみにふさわしいライティングデザインの整備を検討する。日亜化学工業㈱と協働し、LEDを用いた、特徴的な形状、または、この町にしかないライティング手法の検討を行う。LEDは光源が小さく熱に強いことから、沿道の建物に埋め込む、地中に埋め込む等の、照明器具の主張はないが特徴的な明かりの製作、または、モニュメンタルな形状の明かりの製作を検討する。



◀ニセコ町岩内洞爺線「綺羅街道」街路等  
平成14年度都市景観大賞「美しいまちなみ優秀賞」を受賞した。“ニセコの自然と調和した歩いて楽しい魅力ある街づくり”がコンセプトの街並みで、照明器具もそのコンセプトに合致したデザインが採用されている。山並みのモチーフをデザイン化した器具で、ポールは自然の木肌を生かしたものとし、温かみのある道路景観を演出している。



▲山形駅西地区土地区画整理事業「霞城公園南口線」街路灯 歴史と文化都市にふさわしい「あんどん」をモチーフにしたデザイン



▲東京ミッドタウンの街路灯  
特徴的な形で場所を印象付けるデザイン

▲水中照明（LED）で道路を照らす

【町の活性化を促す運営組織を支援し、空き家・空き店舗の利活用、商店街のリノベーション等を具体的に推し進める。】

商工会、青年会議所、地域おこし協力隊、NPO団体等と連携し、検討対象地区の低未利用地の利活用、商店街のリノベーション等を推進する。

- まちゼミ（商工会主催、商店街協働）の活動支援を図る。
- 低未利用地等の利活用を促進し、地域のにぎわいづくりを推進する。
- UIターン促進事業補助金制度等の導入を検討する。
- 地域おこし協力隊の活動を支援し、利活用方策を共に考える場、企業支援のセミナー等を行える場の提供を図る。
- 起業希望者の支援方策の検討を行う。
- 空き店舗を一時貸し出しし、ガレージセール、ガレージバンドの演奏、フリーマーケット等の青空市等の運営を検討する。



▲阿南商工会議所主催、商店街店主参加のまちづくりイベントの案内



▲阿南市青年会議所の食育イベントの案内



▲青年会議所主催、楽器体験教室



▲（他市事例）柏市 カシニワ制度：低未利用地を地域の庭として活用する事例



▲（他市事例）越谷市 ガレージセールと空き家見学会を兼ねたイベント

【地域の学生による空き店舗活用による活性化を図る】

富岡西高校の学生が通学路として利用する通りの愛称を「富西通り」と名付け、その通りの空き店舗を利活用し、学生と地域の融和による中心市街地活性化を目指す。

- 商店街・商工会等との連携により、料理部の学生等による高校生レストラン運営、スイーツショップ運営等を行い、地産地消を図る。
- 商工会等と連携し、手芸部の学生等によるしじら織等を活かした雑貨ショップの運営を図る。
- 吹奏楽部の学生による野外コンサート、演劇部の学生による観劇会等の運営を図る。
- 高校生・大学生等による、空き家を活用した小学生等の支援塾（ボランティア）、学外保育等の事業運営を検討する。



▲（他市事例）三重県 多気町 高校生レストラン



▲（上）ハンドメイドソープ  
（下）ハンドメイドストラップ



▲（他市事例）愛知県 新城中学校 駐車場で野外コンサート



▲（他市事例）仮設住宅での学習支援ボランティア

- 駅前広場については、おおむね10年後の供用開始を目標に、交通事業者（JR等）、道路管理者、地権者等と協議を行い、都市計画の決定、測量・実施設計を推進する。
- 駅東側との連携強化に向けて、駅東側の現商工会議所南空地を活用したロータリーの整備、東西連絡道路の整備を推進し、西側ロータリーの計画推進と合わせ一体的な交通結節拠点の整備を検討する。
- 商店街のにぎわいづくりに向けて、シンボルロードの整備、また、地元商店街や事業者、学校等との協議を通じて活性化案の検討を推進する。

まちづくりの基本方針	事業内容	実施年度（概略）									
		H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	H38年度	H39年度	H40年度
1.快適で分かりやすい交通基盤整備 2.都市的環境に優れたまちづくり	駅前広場および駐車場整備 （アクセス道路含む）	概ね5年					概ね10年				
	東西を結ぶ道路整備	関係機関協議・都市計画決定～実施設計・用地取得・工事着工									
	シンボルロード整備	リニューアル案の検討					リニューアル案に基づく段階的实施				
3.主体的なまちづくり組織づくり	プロデュースショップ支援 （商店街の活性化）	地元ワークショップ等による活用方針の検討					具体的取り組みの段階的实施				

＜事業手法：考えられる補助メニュー等＞

【国の補助メニュー】社会資本整備総合交付金/地方創生推進交付金/地域経済循環創造事業交付金/防災・安全交付金/文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業（文化芸術創造拠点形成事業）

【公共団体からの助成】コミュニティ助成事業（共生の地域づくり助成事業）/環境保全推進助成事業/ふるさとものづくり支援事業/地域再生マネージャー事業/スポーツ振興くじ助成金/宝くじスポーツフェア開催事業/インバウンド支援事業/地方創生アドバイザー事業/国際交流支援事業/地域イベント助成事業/健やかコミュニティモデル地域育成事業

【民間活力導入】PPP事業・PFI事業